

あいち農産物生産流通レポート

平成23年10月号

情報サロン		
・最近話題となっている果実の動向（ブドウ）	（東京事務所）	1
地域トピックス		
・「東栄フェスティバル」が開催されます	（新城設楽農林水産事務所）	3
東日本情報		
・「いいともあいち推進店」ヴィコレットについて	（東京事務所）	4
西日本情報		
・栄・久屋大通公園で愛知の農産物をPRしました	（食育推進課）	6
フラワーページ		
・大田市場で ハロウィンかぼちゃのセリ市が開催される	（東京事務所）	8
青 果		
・愛知産青果物の動向（名古屋・東京市場）		9
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の10月の見通し（県内市場）		22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績（2011年7月）		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

最近話題となっている果実の動向（ブドウ）

最近、ブドウの新しい品種が市場に出回り始め、消費者の支持を集めています。共通した特徴は、種がなく皮ごと食べることができ、甘味が強い点にあります。これら品種の中で、特に最近話題となっている品種を紹介します。

<シャインマスカット>

現在、最も注目を集めているブドウ品種は何といても「シャインマスカット」です。（独）農研機構果樹研究所が育成し、平成18年3月に品種登録されると、瞬く間に全国に広がりました。

特徴は、前述の通り、種がない大粒果で皮ごと食べられ、甘味が強い（糖度18度以上）ほか、マスカット香（注）があり、硬めでも噛み切りやすい肉質であることなどです。産地化を積極的にすすめている県として、山形県、長野県、山梨県、岡山県、島根県などがあります。

本年からは首都圏のスーパーや量販店でも普通にかけるようになり、各産地ともに量産体制ができつつあります。各県ごとに着色基準がやや異なり、関西に多く出荷する岡山県は青緑色がやや強く、山梨県及び長野県は緑～黄緑色での出荷となっています。



<ナガノパープル>

長野県果樹試験場において育成され、平成16年に品種登録された県オリジナル品種で、現在、60ha以上で作付けされています。特徴は、黒色系品種の中では珍しく、種がなく皮ごと食べられる大粒品種で、糖度が18度以上あり、皮が柔らかくパリパリとした歯切れが良い肉質であることなどです。育種過程で交配親である「巨峰」に近いフォクシー香（注）があり、「巨峰」と同じ9月上中旬を中心に出荷されます。しかし、果皮が柔らかいため裂果しやすい欠点があり、栽培管理上、「巨峰」以上の栽培技術を必要とするようです。



ナガノパープル（大田市場）

毎年生産量が増えており、首都圏のスーパー、量販店で良くみかける品種となりつつありますが、長野県限定で栽培されていることから、今後、急激な生

産量の増加はないものと考えられます。

<ルビーロマン>

石川県農業総合研究センターにおいて育成され、平成 19 年に品種登録された県オリジナル品種です。この品種は、ルビーに似た鮮やかな紅色の果皮とピンポン玉大の大粒である点が最大の特徴です。また、甘味は巨峰並みの糖度約 20 度で酸味が少ないこと、果汁が豊富（ジューシー）で、皮離れが良く食べやすいことなどから市場評価も高く、昨年 7 月 28 日、石川県内の卸売市場での初売りで 1 房（700 g）20 万円の高値がついたことから話題となりました。



ルビーロマン（大田市場）

京浜市場には昨年から出荷され、今年は 8 月中旬に入荷しました。現在、県、生産団体、生産者が一体となってルビーロマン倶楽部を設立し、販路拡大とブランド化を推進しています。その一貫として、8 月 30 日には知事トップセールスが大田市場で行われました。

このルビーロマンは糖度、着色、粒重など出荷基準が厳しく定められており、「ルビーロマン倶楽部」の農協検査員による検査に合格したもののみに「認証シール」を貼ることができます。現在、都内の果実専門店でも高級ぶどうとして販売されています。来年以降、作付面積の増加や成木化により、京浜向けの出荷量は増加する見込みですが、果実専門店中心の販売は変わらないものと思われます。



ルビーロマンの競売（大田市場）

（注）ブドウの香りは大別してマスカット香、フォクシー香、香りなしに大別されます。マスカット香は「マスカット・オブ・アレキサンドリア」などマスカット系品種に特有の爽やかで上品な香り。フォクシー香はアメリカブドウに由来する香りの一種で「キャンベルアーリー」「巨峰」「ピオーネ」などにみられる甘味を伴った香りです。

「東栄フェスティバル」が開催されます

奥三河の各地域に鎌倉・室町時代から伝承され、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「花祭り」。この花祭りの魅力を凝縮した東栄フェスティバルが平成 23 年 11 月 3 日（木）に開催されます。

東栄フェスティバルでは、花祭りの 舞 に加え、丸太から作品を削り出すチェーンソーアートの実演やプロの和太鼓集団である「志多ら」の演奏等を楽しむことができます。

また、新鮮な野菜、地元特産の五平餅や蜂ご飯等の販売もありますので、ぜひ御来場ください。

日時

平成 23 年 11 月 3 日（木） 午前 10 時 30 分
から午後 6 時 10 分まで

場所

東栄ドーム(東栄町総合社会教育文化施設内)
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上大林 26-1

プログラム

- 10：30～ 開会式
- 10：45～ 先着 100 名抽選会、チェーンソーアート実演、健康体操、みんなで遊ぼう、太鼓&バンド披露（東栄小学校）
- 14：00～ 花祭り実演（布川花祭保存会）
- 15：00～ 花祭り実演（古戸花祭保存会）
- 16：00～ 「志多ら」太鼓
- 17：10～ 花祭り実演（小林花祭保存会）
- 18：00～ 閉会式、ざげち（白紙に絵型等を切り抜いた祭具）等のプレゼント抽選会

10：30 から 14：00 の間にみんなのふれあい広場で、健康チェック・相談、親子木工広場、お楽しみ試食会(五平汁、先着 100 名)、エコマーケットや森の P R コーナーを開催します。

主催

東栄町

お問い合わせ先

東栄町役場経済課（電話 0536 - 76 - 1812）

東栄町ホームページ：<http://www.town.toei.aichi.jp/>



「いいともあいち推進店」ヴィコレットについて

「いいともあいち運動」は、愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。また、県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと食べていただきたい（利用していただきたい）という、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

この取組に賛同し、「いいともあいち推進店」の県外店舗1号店である、東京のイタリア料理店「リストランテ ヴィコレット」を訪問する機会を得ましたので紹介します。

このお店は、お洒落な街で知られる東京、自由ヶ丘にあり、東急東横線自由ヶ丘の駅を降りて市街地をぬけた閑静な高級住宅街の中にあります。お昼は近所の奥様方、夜は若い女性客などが多く集まる超人気店です。

この店のオーナー渡邊貴夫さん（愛知県岡崎市出身）には、愛知産の魚介類、肉、野菜などを積極的に使ったメニューで、「愛知産農産物の良さ、おいしさ」を日頃よりお客さんにPRしていただいております。

去る6月4日にも特定非営利活動法人「野菜と文化のフォーラム」の「食べておいしさを知る野菜の学校」の中で、愛知の野菜の魅力を発信していただくべく、「愛知野菜とヴィコレットの関わり」と題して講演を行っていただきました。受講者である野菜評論家、農業専門誌記者、食生活ジャーナリスト、料理研究家、管理栄養士、八百屋さん等、野菜に関するあらゆる分野のプロ達に対して、「愛知産へのこだわり、食材の魅力」などについて笑いを交えた楽しいお話をさせていただきました。



渡邊シェフの講演風景



店の外観

お店は、渡邊シェフと奥さん及び数人のスタッフで運営しており、渡邊シェフがメイン料理を担当し、パティシエの奥さんが、デザートを作るという二人三脚の家庭的な雰囲気のあるイタリアン料理店です。

渡邊シェフは、“四季折々の味わい”にこだわり、お客様がいらっしゃる度に、新たな発見や楽しみを感じて頂き、来店された方が皆“元気になる”ようなお店でありたいとの精神で、ここでしか出会うことのできない味覚はもちろんの事、視覚でも楽しめる料理を常に提供できるような様々な食材にこだわっているとのこと。

その中でも、ヴィコレットの主役は「岡崎市でシェフのおばあちゃんが育てている野菜たち」です。力強く味わい深い、愛情たっぷりの野菜たちは、『旬』にしか味わうことのできないもので、その味わいを大切に届けたいとのこと。

その他魚介類は、三河湾の一色漁港で水揚げされる『地魚』、鶏肉は『三河地鶏』を使っているそうです。豚肉は、一色漁港近くで、海風があたる場所の養豚場、『渡辺ファーム』の“オインク豚”、牛肉は、肉本来がもつ旨味と甘い味わいがつまった田原牛のフィレ肉の部分をつかっているとのこと。変わったところでは、奥三河でとれる鮮度の良い猪や、額田のシカ肉、三河濃厚卵《満月》など、とことん愛知産にこだわってみえます。

渡邊シェフは、地元のお客さんはもちろんのこと、首都圏在住の愛知県出身者や愛知県から出張等で上京した人を大きなターゲットとしており、愛知県ゆかりの人が気軽に集まれる空間（場所）を目指しているとのことでした。

ヴィコレットは、日頃より自由ヶ丘の地において愛知県の「アンテナショップ」的な活動をしていただいております。今後とも、「愛知県産野菜・果実等のすばらしさ」を発信し続けていきたいと考えております。みなさまも、東京へお越しの際は、是非一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



三河一色産イシモチとおばあちゃんの育てたサラダ



シカ肉のヴィコレット風サルティンボッカ

栄・久屋大通公園で愛知の農産物をPRしました

秋の晴天のもと、9月10日(土)から翌11日(日)にかけて、「ふるさと全国県人会まつり2011」が中区栄の久屋大通公園で開催されました。

1 ふるさと全国県人会まつり

ふるさと全国県人会まつりは、東海地方で活躍する全国の県人会が主体となって、各県の伝統芸能や踊り、民謡などを披露するほか、物産品の販売や観光案内などを通してふるさとの温かさや魅力をPRする催しで、今年で11回目の開催になります。

会場では、被災者支援をテーマとして、「東日本大震災被災者支援情報コーナー」が設けられたほか、ステージで全国の踊りが繰り広げられるとともに、91ものブースが展覧され、2日間で約17万人が来場しました。

2 愛知県のブース出展

会場は熱気に包まれ、多くの来場者が各出展者のブースを訪れて特産品を買い求めたりしていました。

愛知県から出展した3つのブースでは、愛知の山間地域の産品の販売、名古屋空港のPR、名古屋コーチンの焼き鳥などを販売するとともに、愛知県・JAあいち経済連で構成する愛知県農産物需要拡大推進協議会が旬の青果物を販売しました。

また、農作物を荒らす有害獣であるイノシシ、シカの肉を使ったジビエ料理の試食会を「中部圏ジビエ連合」(愛知県および中部圏9県1市及びNPOで構成される連合)が行い、大村愛知県知事自ら調理するなど、ジビエの活用について広くPRしました。



大村知事自らジビエを調理

3 愛知県農産物需要拡大推進協議会の出展内容

(1) 本県産農産物のPR活動

トマト、ミニトマト、いちじく、ハウスみかん、なしの5品目を展示販売しました。

このほか、いちじくの新しい食べ方のレシピの紹介や、各品目を紹介したリーフレットを配布するなど、本県産農産物をPRしました。

また、小さい子供向けに氷水にミニトマトを浮かべた「ミニトマトすくい」も行い、親子づれに大好評でした。



愛知県ブース

(2) 来場者の声や反応等

トマト

前週の台風で果菜類が高値になったことから、店頭価格に比べて割安感があるトマトは好評でした。氷で冷やしたトマトを歩きながらおいしそうに食べている人もいました。

ミニトマト

晴天のもと、氷水で冷やしたミニトマトを網ですくう「ミニトマトすくい」は目にも涼しげで、子ども連れの来場者に大変好評でした。

いちじく

台風の影響で価格が上昇したことから、店頭価格に比べて割安感があり、反応は非常に良く、2日間とも早い時間に売切れてしまいました。

なし(豊水)

地元安城産の豊水は、台風の影響で価格が上昇したことから、店頭価格に比べて割安感があり、反応は良く、2日間とも午前中に売切れてしまいました。

ハウスみかん

販売した「みはまっこ」(通常のハウスみかん)と「さわみっこ」(果皮に緑色を残すハウスみかん)は、甘みと酸味のバランスが絶妙で、試食した来場者から口々に「おいしい」、「甘い」などの感想が聞かれました。

全国の魅力的な特産物を扱うブースが多く立ち並ぶ中で、愛知県ブースには、地元愛知県の農産物に親しみを持ってくれる数多くの来場者に訪れていただくことができました。



ミニトマトすくい



いちじくとなしのディスプレイ



ハウスみかんのディスプレイ

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

大田市場で ハロウィンかぼちゃのセリ市が開催される

10月に入ると街の各所でハロウィン商品が売られようになります。ハロウィンは、カトリックの諸聖人の日（万聖節）の前晩（10月31日）に行われる西欧の民族行事ですが、日本でも十年以上前から行われるようになりました。

この行事に欠かせないのが、「ジャック・オー・ランタン（Jack-o'-lantern）」と呼ばれるカボチャちょうちんです。カボチャをくり抜いて顔をつくり、内側からろうそくで照らしたものを家の玄関に置いたり、あるいは小さなカボチャに様々なアレンジをして飾ったりします。

このハロウィン行事を控えた9月24日、大田市場花き部において、毎年恒例の第15回かぼちゃ大市が開催されました。（株）大田花きの競売場では、「がんばれニッポン」の意味合いを込めて、ワールドカップで優勝したサッカー女子日本代表に扮したセリ人が登場し、1個50kgを超える大型のカボチャ（品種名は不明）や「ルージュヴィテタンフ」、「アメリカンゴールド」、「オータムゴールド」などの中型の品種、あるいは専用ケースに入った「カーニバル」、「オレンジブー」、「恐竜の卵」、「テーブルトリート」などの小型品種が順番にセリにかけられました。



カボチャ競売の様子

今年の作柄は、主産地である北海道産の天候不順により入荷量が前年対比で62%と少ないため、引き合いが強い販売となりました。

セリ落とされたカボチャは、生花店、ガーデンセンターなどの店頭で並べられ、今年のハロウィンを盛り上げる商材となる予定です。

東日本大震災、大型台風の被害など暗い話題が続いていますが、地域や家族で楽しむことができるハロウィンが例年どおり行われることを期待します。



大田花き競売場の前に飾られたカボチャ

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	386	145 (38%)	317	317	三重 (70%)
23年見通し	385	—	317	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
主な産地は愛知、三重。 春先の低温と日照不足で、開花が平年より早く、花もたくさん付いた。 6月下旬から7月上旬にかけての高温で生理落下が多いが、生育は比較的順調で、病害虫も少ない。 入荷量は前年並みか、少し減る見込み。			品種の変化は特にはないが、全体的に渋柿が減って、甘柿が増えてきている。和歌山産の種なしなども人気。 例年10月頃にスーパーなどで試食宣伝会を開催するが、次郎柿は年々出荷が減ってきているため、現時点では予定していない。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	317	291 (88%)	327	317	静岡 (10%) 岐阜 (1%)
23年見通し	280	—	340	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
愛知中心に静岡などから入荷する。 本県産は春先の低温、開花期の天候不順による生理落果の影響に加え、台風12号及び15号の被害により、不作だった昨年を下回る出荷見込みである。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。			「りんご」「みかん」など競合する果実が本格化する時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別の徹底はもとより、予約販売に向けた的確な出荷情報の提供が求められる。		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月14日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	18年	42,693	173	193	175	156	北海道 39%
	19年	41,928	194	195	191	195	長野 20%
	20年	41,495	185	202	186	170	群馬 8%
	21年	41,407	165	158	169	169	茨城 6%
	22年	34,154	233	216	223	261	
	計	5ヵ年平均	40,335	190	-	-	-
	23年見通し	36,200	191	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は、北海道、長野が中心。重量野菜を中心に、生育、入荷量ともに順調だが、台風や秋雨前線の影響が心配される。 入荷量は、高かった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
だいこん	18年	3,354	58	64	57	55	青森 38%
	19年	2,925	99	120	92	87	北海道 35%
	20年	3,084	91	138	74	66	新潟 8%
	21年	3,416	55	55	52	59	岐阜 7%
	22年	2,323	103	130	84	99	
	計	5ヵ年平均	3,020	79	98	70	71
	23年見通し	2,700	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森中心。北海道は今後出荷が増え、岐阜や例年に比べてやや少ない見込み。今後気温が下がり、需要が増えれば堅調な値動きとなる。 入荷量は、前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	18年	3,294	129	164	141	90	北海道 92%
	19年	3,335	111	104	109	119	青森 7%
	20年	3,418	108	117	109	98	中国 1%
	21年	3,020	108	105	119	102	山形 0%
	22年	2,314	154	160	155	147	
	計	5ヵ年平均	3,076	120	128	125	109
	23年見通し	2,600	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道が中心。全体的に生育に遅れが見られる。台風や秋雨前線の影響で、品質が心配される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

9月29日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	実績と見通し	区分	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年		138,437	189	211	195	166	北海道 27%
	19年		140,172	219	227	215	216	長野 13%
	20年		143,711	205	220	220	205	群馬 12%
	21年		146,454	177	168	179	184	茨城 11%
	22年		130,018	245	283	226	230	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均		139,758	207	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し		134,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道、東北からの入荷が減少し、関東産地からの入荷が本格化する。各産地ともに台風などの天候不順の影響が若干残り、生育不良、小玉傾向が見られる。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>								
だいこん	18年		12,727	54	60	56	46	北海道 44%
	19年		12,916	93	115	87	78	青森 33%
	20年		13,795	83	131	68	53	千葉 12%
	21年		14,596	52	57	47	52	岩手 6%
	22年		12,341	102	124	81	100	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均		13,275	76	97	67	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し		11,900	100	95	105	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>東北、北海道が終盤を迎え、関東産地からの入荷が始まる。北海道は7月播種分が少なかったこと、2つの台風による天候不順、その後の冷え込み等により少なめ傾向でこのまま終了。千葉は台風15号の影響は少ない。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>								
にんじん	18年		7,475	132	161	148	96	北海道 88%
	19年		8,357	116	114	114	120	青森 6%
	20年		8,326	114	121	119	104	中国 4%
	21年		8,410	117	115	120	115	千葉 2%
	22年		8,110	150	158	152	142	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均		8,136	126	133	130	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し		8,050	130	120	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道中心の入荷となる。北海道は干ばつ、ゲリラ豪雨、曇天、台風の影響による風雨など天候不順が重なり、肥大も芳しくなく、小振りの仕上がりで平年作を下回る見込み。入荷量は少なかった前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>								

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	18年	4,803	59	74	54	50	長野 93% 北海道 4% 茨城 2%
	19年	4,804	85	81	89	86	
	20年	4,185	82	111	75	64	
	21年	3,960	55	59	48	58	
	22年	3,589	86	109	72	79	
さい	5ヵ年平均	4,268	73	86	68	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	23年見通し	3,600	90	100	90	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野、北海道、茨城が中心。茨城産は10月末から出荷が始まる。入荷量は高かった前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。					
キャ ベ ツ	18年	4,344	83	109	78	67	群馬 56% 長野 24% 愛知 7%
	19年	4,743	80	79	76	85	
	20年	4,603	74	81	71	71	
	21年	4,584	63	70	60	59	
	22年	3,752	106	110	95	115	
ベ	5ヵ年平均	4,405	80	89	75	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ツ	23年見通し	3,700	80	70	80	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は群馬、長野が中心。生育も順調。入荷量は高かった前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
ほう れ ん そ う	18年	493	388	459	484	285	愛知 46% 岐阜 43% 群馬 3% 茨城 2%
	19年	370	617	766	618	516	
	20年	360	552	920	533	407	
	21年	308	578	546	743	504	
	22年	334	564	842	544	427	
れ	5ヵ年平均	373	528	692	574	416	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	23年見通し	330	570	650	560	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岐阜、愛知中心。愛知産は稲沢のハウスものが9月下旬から出荷される見込み。岐阜は安定した出荷を見込むが、台風などの天候による影響が心配される。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	13,940	46	66	45	32	長野 79%
	19年	13,000	76	81	82	67	茨城 9%
	20年	13,022	70	107	67	47	北海道 7%
	21年	13,101	44	51	41	42	群馬 4%
	22年	13,881	85	113	69	74	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 23年見通し	13,389 13,800	64 75	84 90	61 70	52 65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野及び茨城からの入荷となる。長野は8月下旬からの長雨、2つの台風絡みの降雨により湿害が発生があるものの作付け増もあり前年並の出荷量はある。茨城は中旬よりの入荷となる。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
キャベツ	18年	14,804	76	106	73	56	群馬 68%
	19年	15,175	75	76	74	76	岩手 9%
	20年	15,337	69	80	65	62	千葉 7%
	21年	17,355	57	68	53	51	長野 4%
	22年	14,373	106	117	93	109	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均 23年見通し	15,409 15,000	76 80	88 80	71 80	70 80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、東北産が減少し、関東産地中心の入荷となる。群馬は台風の影響を若干受けたものの大幅な減少なく推移する見込み。千葉はも今回の台風15号の影響はほとんどなく現況は順調。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					
ほうれんそう	18年	1,854	407	403	507	333	群馬 41%
	19年	1,706	534	612	538	471	茨城 15%
	20年	1,792	464	731	419	345	栃木 15%
	21年	1,597	478	391	647	447	千葉 8%
	22年	1,590	535	751	475	464	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 23年見通し	1,708 1,600	481 500	576 650	515 450	409 400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷となる。全体的に気温の低下により生育は回復傾向であるものの群馬は天候不順の影響を強く受けている。栃木は台風の影響はない。 入荷量は少なかった前年並にとどまり、価格は高かった前年をかなり下回るものの平年より高値の見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	1,202	333	380	337	294	北海道 48%
	19年	1,395	399	457	377	373	長野 9%
	20年	1,423	325	378	309	289	愛知 7%
	21年	1,428	326	326	351	306	富山 7%
	22年	1,227	411	517	356	374	
ぎ	5カ年平均	1,335	358	409	346	327	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,350	350	400	350	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は北海道が中心。北海道は台風や秋雨前線の影響により、入荷が少なめの見込み。長野産は入荷量、生育ともに順調。愛知の長ねぎは病害虫が発生したため、品質が低下した。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
レ	18年	2,333	121	135	124	107	茨城 55%
	19年	2,050	182	224	174	155	長野 37%
	20年	1,870	179	240	174	137	兵庫 7%
	21年	1,936	88	74	90	100	愛知 1%
	22年	1,446	249	405	206	187	
タ	5カ年平均	1,927	158	203	150	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,500	200	250	200	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は茨城、長野中心。茨城産は生育に遅れがみられ、10月中旬から入荷予定。長野産は長雨で痛みが出ており、切り上がりやすい可能性がある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
き	18年	1,714	194	205	221	162	群馬 39%
	19年	1,536	308	292	293	342	長野 15%
	20年	2,316	221	166	233	276	山梨 14%
	21年	1,412	248	200	294	260	埼玉 13%
	22年	1,291	335	380	254	395	
り	5カ年平均	1,654	254	237	255	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,300	293	280	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は群馬、長野、埼玉、山梨などが中心。抑制栽培ものは終盤を迎え、今後関東産の出荷がピークとなる。 入荷量は高かった前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	5,269	241	273	257	202	青森 31%
	19年	5,761	314	403	274	270	秋田 15%
	20年	6,254	232	314	209	180	北海道 11%
	21年	5,545	255	275	267	229	山形 11%
	22年	5,272	340	428	289	309	(愛知産比率 -%)
ぎ	5カ年平均	5,620	275	338	258	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,300	290	300	290	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、秋田に加え、関東産地からの入荷が増加。東北各県の作柄はこれまでの暑さと小雨の影響もあり順調とは言えないところに台風15号の被害も散見される。 入荷量は少なかった前年並が見込まれ、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
し た	17年	8,681	106	114	113	91	茨城 62%
	18年	8,726	158	189	155	133	長野 27%
	19年	8,409	161	212	158	123	栃木 6%
	20年	9,670	75	62	82	85	群馬 3%
	21年	7,877	236	391	189	167	(愛知産比率 0%)
ス	5カ年平均	8,673	144	187	137	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,100	170	190	170	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は定植遅れがあったものの順調にきている。終盤の長野は上旬はまとまった量が出荷されるが平年どおり20日頃までとなる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き ゆ	18年	6,714	182	181	211	154	埼玉 33%
	19年	6,245	278	260	269	308	群馬 21%
	20年	6,485	290	351	251	264	茨城 14%
	21年	6,349	216	159	265	233	福島 11%
	22年	5,498	315	340	243	392	(愛知産比率 -%)
う り	5カ年平均	6,258	254	255	247	265	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,500	300	330	300	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地中心の入荷となる。埼玉は、2つの台風の影響で入荷減、他産地を含め全体でも、ここにきての寒さの影響から上旬までは品薄状態が続く見込み。 入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は高かった前年をやや下回るものの高値で推移する。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	783	266	294	267	245	愛知 30%
	19年	744	279	282	264	294	徳島 20%
	20年	736	269	326	256	235	山梨 16%
	21年	675	253	150	314	366	熊本 16%
	22年	851	248	307	220	223	
す	5ヵ年平均	758	263	275	262	269	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	660	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、徳島、山梨、熊本が中心。台風の影響が大きく、愛知産は生育は順調だったが、擦れなどの品質低下が見られる。徳島も台風による大きな被害がでている。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	1,264	375	504	345	303	岐阜 25%
	19年	1,003	448	382	451	552	愛知 18%
	20年	1,108	387	464	417	311	千葉 15%
	21年	1,363	272	245	276	301	熊本 12%
	22年	917	494	635	458	421	
ト	5ヵ年平均	1,131	385	433	380	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,000	370	400	370	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜、愛知、千葉、茨城が中心。産地の切り替わりが始まり、夏秋ものと抑制栽培のものが入荷される。夏秋産地の北海道と青森は10月の入荷は少ない見込み。抑制栽培の愛知と岐阜産は生育も順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	245	849	1,045	926	627	北海道 46%
	19年	261	771	709	775	841	愛知 30%
	20年	283	649	672	751	527	熊本 10%
	21年	334	520	527	544	494	
	22年	235	1,025	1,237	1,159	693	
ト	5ヵ年平均	271	742	809	807	626	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	280	650	700	600	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道、愛知、熊本が中心。北海道や、夏秋産地の切り上がりも早い見込み。8月の暑さの影響で、後続の産地にやや遅れが見られる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	3,679	286	298	305	260	高知 27%
	19年	3,749	308	359	294	274	栃木 22%
	20年	4,107	247	348	215	197	群馬 15%
	21年	3,435	221	173	307	313	茨城 15%
	22年	3,907	245	308	222	211	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,775	262	300	266	249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,600	280	300	280	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と西南暖地からの入荷が始まる。栃木、茨城、群馬は台風の影響で、倒伏、擦れ果、キズ果が多く、中旬までの出荷量が少なくなり、高知は高温の影響があるが現況順調、中旬より量がまとまって出てくる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	7,100	343	440	333	274	千葉 24%
	19年	5,817	428	357	443	507	茨城 20%
	20年	6,327	373	444	394	302	青森 10%
	21年	7,681	266	239	269	294	福島 9%
	22年	5,376	475	591	420	428	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	6,460	368	403	364	352	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,600	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。千葉は着果状況、玉伸びも良好で順調な出荷が見込まれる。茨城は作付け減もあり大幅減少が考えられる。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	1,146	734	950	792	530	茨城 20%
	19年	1,159	717	663	728	761	千葉 18%
	20年	1,263	618	608	708	549	愛知 14%
	21年	1,570	466	486	478	441	北海道 11%
	22年	1,045	923	1,154	1,010	658	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均	1,237	671	743	720	576	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,300	750	750	750	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道は終盤を迎え、関東産地と愛知からの入荷が増えてくる。各産地とも、昨年ほどではないが高温、干ばつの影響から前半の出荷量が少なくなる見込み。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	563	289	347	315	235	茨城 36%
	19年	510	352	330	351	375	岩手 28%
	20年	524	306	257	348	313	北海道 17%
	21年	541	229	139	224	368	
	22年	461	415	508	382	377	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	520	315	311	322	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	500	300	280	310	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岩手、茨城が中心。抑制栽培ものと、促成栽培ものがそれぞれ入荷が始まる。10月上・中旬は北関東から、中・下旬以降は宮崎、鹿児島から入荷が始まる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	18年	3,632	90	95	90	86	北海道 100%
	19年	3,553	74	74	71	76	京都 0%
	20年	3,516	74	74	76	72	大阪 0%
	21年	3,292	97	105	111	83	
	22年	2,729	142	159	154	117	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,344	93	99	98	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,000	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道が中心。2L、3Lサイズは少なめ。雨で定植に遅れがでており、定植後の干ばつで生育にも遅れが出ている。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	5,367	79	85	76	75	北海道 96%
	19年	6,070	61	62	60	62	中国 2%
	20年	6,034	69	73	67	67	アメリカ 1%
	21年	6,108	80	82	82	78	兵庫 1%
	22年	4,503	119	118	125	113	
ね	5カ年平均	5,617	80	82	80	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道が中心。北海道産は地域によって生育に差が出ている。北見市産中心で、他地域はM玉が中心。生育はともに順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	2,191	249	317	236	205	茨城 61%
	19年	2,054	317	289	311	357	岩手 15%
	20年	2,139	285	245	356	265	青森 8%
	21年	2,151	220	121	222	337	福島 8%
	22年	1,705	406	489	386	346	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,048	290	284	298	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	300	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と東北産地中心の入荷となる。茨城の生育は暑さも和らぎ、着果状態も良好で潤沢な出荷が見込まれる。東北産地は終盤を迎えるなか、岩手も露地、ハウスともに正品化率が良く順調。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばいしょ	18年	7,078	109	112	108	108	北海道 100%
	19年	8,536	84	81	85	86	青森 0%
	20年	8,133	93	94	94	92	(愛知産比率 0%)
	21年	7,620	121	118	120	123	
	22年	7,248	156	158	157	152	
い	5カ年平均	7,723	111	111	112	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,500	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は玉伸び等、順調に推移してきたが、9月の多雨の影響では場は水分過多の状態が続いており、腐敗の心配が残る。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	10,312	88	89	88	87	北海道 88%
	19年	12,137	68	67	68	69	中国 7%
	20年	11,484	79	80	80	78	米国 3%
	21年	9,959	100	101	100	99	(愛知産比率 -%)
	22年	9,618	135	135	135	135	
5カ年平均	10,702	92	93	92	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
23年見通し	10,000	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。中晩生種に切り替わるが2つの台風に関連した多雨により一部では場が冠水したところがあったが影響は最小限にとどまった。総体的には順調で安定出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	14,791	261	276	253	255	フィリピン 17% 三重 15% 長野 15% 和歌山 13%
	19年	15,183	271	300	264	249	
	20年	15,873	233	244	235	221	
	21年	14,579	216	235	213	201	
	22年	12,196	285	324	282	250	
	5ヵ年平均	14,524	252	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	12,200	260	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>秋の果実が出回る時期。7月上旬からお盆にかけて果実全体の単価が高かったが、消費低迷などでその後下落してきている。台風の影響で、傷んでいるものが多い。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
みかん	18年	3,948	247	285	233	234	三重 56% 熊本 16% 和歌山 9% 静岡 6%
	19年	4,447	216	272	212	179	
	20年	4,845	185	195	180	182	
	21年	4,450	167	193	160	156	
	22年	3,228	221	261	228	188	
	5ヵ年平均	4,184	205	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,600	180	200	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は三重、熊本。数量も多く、大玉傾向だが、春先の低温や台風の影響で、酸味も糖味も少なく食味が心配。入荷量は、前年を大幅に上回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>							
かき	18年	2,549	230	224	225	238	和歌山 78% 愛知 7% 岐阜 6% 奈良 3%
	19年	2,283	254	273	228	262	
	20年	2,549	199	216	211	180	
	21年	2,568	186	193	192	178	
	22年	1,648	323	369	310	303	
	5ヵ年平均	2,319	231	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,100	220	250	230	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は和歌山。台風の影響で擦れや傷がついているものが多い。もともと葉摘みをする時期なので、落下はそれほど心配ない。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	50,269	261	264	267	261	フィリピン 10%
	19年	52,565	264	288	262	245	熊本 10%
	20年	56,692	229	239	229	220	青森 9%
	21年	57,281	207	225	205	194	和歌山 9%
	22年	45,135	276	310	271	249	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	52,388	245	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	50,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、かき、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」に「ジョゴール」「ふじ」が加わったの入荷となる。「ふじ」などの早生品種は7月の高温干ばつと病害の影響で入荷が少なく小玉傾向である。果物全体の入荷量は不作だった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					
み か ん	18年	14,577	229	262	221	219	熊本 32%
	19年	17,935	196	303	200	171	長崎 25%
	20年	17,805	165	190	158	152	佐賀 16%
	21年	18,947	149	184	142	132	愛媛 15%
	22年	12,648	201	265	197	167	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	16,382	185	238	181	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	15,000	180	220	180	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に長崎、佐賀などの九州産地や愛媛などから「極早生」中心に入荷する。生育後半に適度な降雨があり玉肥大も良好で、各産地ともにM玉中心の出荷が見込まれる。入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
か き	18年	9,102	245	222	238	266	和歌山 49%
	19年	9,165	252	273	237	252	奈良 23%
	20年	10,049	219	231	224	208	新潟 9%
	21年	10,856	193	190	198	192	福岡 3%
	22年	6,752	320	384	303	297	(愛知産比率 6%)
	5ヵ年平均	9,185	239	250	235	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,000	240	300	210	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山中心に奈良、新潟、愛知から入荷する。前半は「刀根早生」後半からは「平核無」中心に入荷。産地により生育遅れと台風の影響がみられやや小玉傾向。入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	19年	2,809	60	
		20年	2,585	51	
		21年	2,185	51	
		22年	1,824	46	
		4ヶ年平均	2,351	53	
	23年見通し	2,000	50		
概要	愛知、三重、長野を中心に入荷。夏秋タイプの品種もそろそろ終盤に向い品種が入れ替わる。一部では「神馬」も出荷は始まってきたがまだ良い状態とは言えない。[精の一世]「特馬」「晃花の富士」は11月くらいまで出荷はあるが数量的にはあまり多くない。				
小ぎ	実績	19年	1,325	36	
		20年	1,270	23	
		21年	1,032	28	
		22年	964	20	
		4ヶ年平均	1,148	27	
	23年見通し	1,100	25		
概要	愛知、長野、奈良等から入荷。山間地の商品は中旬あたりで終了予定。一部長野産では後半まで出荷あり。今後は地物が中心となる。奈良県産は安定した出荷が見込めそう。現状では順調に推移しているのでこれから出荷のある産地は台風の影響さへなければ昨年並みの出荷は期待できる。				
カーネーション	実績	19年	1,518	36	
		20年	1,304	37	
		21年	1,181	34	
		22年	1,152	40	
		4ヶ年平均	1,289	37	
	23年見通し	1,200	37		
概要	長野、北海道、愛知を中心に入荷。高冷地産は今のところ順調で、昨年は夏場の高温で前進したが、昨年と比べ出荷は増加する。10月も引合いは強く堅調な動きと思われる。				
かすみ	実績	19年	158	105	
		20年	126	122	
		21年	123	93	
		22年	76	142	
		4ヶ年平均	121	112	
	23年見通し	130	100		
概要	長野、北海道、福島、熊本、和歌山から入荷。高冷地は中旬以降減少。昨年より気温が低いいため品質的に問題なく、業務中心の動きで堅調な価格となる見込み。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	467	164	
		20年	405	165	
		21年	344	160	
		22年	368	184	
	4ヶ年平均		396	168	
	23年見通し		400	160	
概要	OHは新潟、岐阜、高地、埼玉、静岡から入荷。昨年は数量が少なく、高単価で動いていたが今年は数量中旬まではありそう。数量減少につれて価格も上昇。LAは彼岸後とあって減少。鉄砲も長野、岐阜、愛媛などの産地が終了し、高知産に切り替わる。数量は減少し、高値で動く見込み。				
洋らん	実績	19年	526	79	
		20年	500	75	
		21年	426	68	
		22年	521	68	
	4ヶ年平均		493	73	
	23年見通し		540	68	
概要	愛知、静岡、鹿児島等の国産品と輸入品が入荷。気温の低下とともにらん系の品質が安定してくる。価格面でも堅調な市況で推移すると思われる。シンピジウムは国産品が出始めるが、まだ輸入品が主力で全体的には安定基調と予想される。				
ばら	実績	19年	1,124	76	
		20年	1,141	76	
		21年	1,095	67	
		22年	1,109	72	
	4ヶ年平均		1,117	73	
	23年見通し		1,150	70	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。夜も涼しくなり、品質は良くなってくる。新品種も少しづつ出始める。プライダルの需要がかなり見込まれるため、引合いは強くなる。				
枝もの	実績	19年	1,832	45	
		20年	1,705	44	
		21年	1,458	43	
		22年	1,753	43	
	4ヶ年平均		1,687	44	
	23年見通し		1,750	43	
概要	ツノナス、ツルウメ、実バラ、栗等の実物や季節感ある枝物が、長野、岐阜を中心に入荷。花展等もあるが、年々縮小ぎみであり、一部の花材を除いては動きがあまり強くなさそう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	18年	30,021	834	
		19年	35,751	686	
		20年	25,116	727	
		21年	21,406	666	
		22年	23,553	699	
	5ヶ年平均		27,169	725	
	23年見通し		23,000	680	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様ユッカ、コンシが主体で、大鉢より小鉢～中鉢の入荷が多そう。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(52.3%)、2位沖縄(16.3%)、3位鹿児島(15.2%)となっている。</p>				
ショコバサボテン	実績	18年	92,895	420	
		19年	99,284	406	
		20年	77,832	385	
		21年	81,947	344	
		22年	60,104	376	
	5ヶ年平均		82,412	389	
	23年見通し		58,000	360	
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。ただ、5号鉢はやや増加か。単価は厳しそう。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(54.7%)、2位埼玉(35.7%)、3位茨城(8.4%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	18年	614,543	185	
		19年	569,393	185	
		20年	591,078	197	
		21年	638,715	180	
		22年	504,016	184	
	5ヶ年平均		583,549	186	
	23年見通し		520,000	170	
概要	<p>全体の入荷量はやや増加か。近年、ガーデンシクラメンの作付けが増加傾向にあり、入荷も増加か。また、4号鉢の入荷もやや増加か。ただ、5号鉢はやや減少か。</p> <p>昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(30.4%)、2位愛知(30.3%)、3位北海道(16.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	18年	11,191	2,379	
		19年	11,683	1,802	
		20年	9,807	2,227	
		21年	7,369	2,060	
		22年	4,307	1,808	
	5ヶ年平均		8,871	2,085	
	23年見通し		5,000	1,700	
概要	<p>猛暑の影響が少なかったため、早生品種は順調に成長しているため、入荷量は昨年より微増か。ただ、単価は厳しそう。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（48%）、2位静岡（19.3%）、3位徳島（11.3%）となっている。</p>				
カラッコ	実績	18年	62,828	186	
		19年	54,484	189	
		20年	61,475	202	
		21年	63,148	202	
		22年	47,561	200	
	5ヶ年平均		57,899	196	
	23年見通し		47,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。小鉢を主体に6号鉢までの混色植えの入荷となりそう。5～6号鉢の単価は安定するが、小鉢は厳しそう。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（50.4%）、2位岐阜（41.6%）、3位愛知（2.8%）となっている。</p>				
パンジー	実績	18年	127,367	42	
		19年	654,950	54	
		20年	869,903	49	
		21年	943,282	45	
		22年	602,791	50	
	5ヶ年平均		839,659	47	
	23年見通し		620,000	50	
概要	<p>夏場の転送が良かったことから発芽率が高く、入荷量は昨年より増加か。ただ、需要もかなりありそうであるので安定相場か。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（35.5%）、2位奈良（19.6%）、3位三重（13.2%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2011年)

1 輸入実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	48,533	106.8	4,713,097	111.9	97	104.9	514,976	121	44,755,763	110	87	90.2
トマト	255	133.2	69,572	133.1	273	100.0	1,235	68	376,684	55	305	80.9
たまねぎ	20,197	101.8	562,608	86.4	28	84.9	222,100	124	9,569,288	116	43	93.9
にんにく	1,973	99.5	281,611	71.5	143	71.8	10,054	95	2,135,776	124	212	130.0
ねぎ	4,323	100.8	380,653	97.4	88	96.7	30,192	115	2,560,132	106	85	92.8
ブロッコリー	3,627	136.5	542,276	132.6	150	97.1	18,796	101	3,138,635	94	167	93.0
結球キャベツ	1,867	384.7	52,735	440.6	28	114.5	20,822	168	681,619	143	33	85.2
にんじん・かぶ	6,089	83.1	299,106	120.9	49	145.4	49,856	177	2,391,821	179	48	101.1
ごぼう	4,592	131.9	259,461	157.4	57	119.3	24,692	128	2,205,139	211	89	165.2
えんどう	216	107.5	71,552	152.1	331	141.4	1,273	95	356,728	101	280	106.2
アスパラガス	190	110.2	107,070	111.2	564	101.0	7,587	99	3,639,101	99	480	100.5
まつたけ	107	62.0	398,056	70.7	3,720	114.0	108	61	407,711	67	3,775	110.7
しいたけ	146	120.5	40,626	119.3	278	99.0	2,884	90	748,712	92	260	102.9
かぼちゃ	379	219.4	31,033	275.7	82	125.7	89,104	110	5,630,327	103	63	93.7
果実(生鮮・乾燥)	171,163	100.7	20,607,500	103.5	120	102.8	1,168,551	99	136,973,196	98	117	98.3
バナナ	92,229	96.0	6,977,527	103.3	76	107.6	641,326	97	44,279,984	95	69	98.3
パイナップル	16,312	108.6	1,005,718	108.0	62	99.4	91,749	112	5,453,136	107	59	95.5
レモン	6,623	108.4	692,090	108.4	104	100.0	29,714	99	3,220,528	83	108	83.4
オレンジ	10,629	159.3	981,906	137.2	92	86.1	84,933	110	7,970,394	106	94	96.2
グレープフルーツ	19,886	101.4	1,383,354	111.1	70	109.6	123,091	92	10,383,327	83	84	89.4
メロン	2,019	176.6	176,122	145.4	87	82.3	21,136	121	2,190,957	116	104	95.9
ぶどう	212	103.3	52,780	91.8	249	88.9	8,445	116	1,434,343	124	170	106.8
キウイ	6,689	85.3	2,190,997	93.2	328	109.2	41,353	99	13,034,059	98	315	98.9
いちご	490	106.0	398,810	101.3	813	95.6	869	123	704,611	120	810	97.1
切花(生鮮・乾燥)	3,300	115.6	2,293,347	109.8	695	94.9	21,797	101	15,343,860	96	704	95.7
鳥獣肉類	159,458	99.8	69,142,748	99.3	434	99.5	1,070,822	106	468,610,924	108	438	102.1
牛肉(くず肉含む)	48,433	111.9	19,369,157	106.5	400	95.2	289,045	106	120,851,620	107	418	100.8
豚肉(くず肉含む)	60,587	85.5	31,827,778	85.5	525	100.0	455,061	100	238,638,560	100	524	100.0
鶏肉	41,931	114.0	12,686,910	146.0	303	128.1	272,347	115	74,745,496	142	274	123.3
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	127,669	91.3	74,237,200	96.4	581	105.6	980,119	98	530,241,002	105	541	107.4
まぐろ類	13,620	91.8	11,856,223	86.9	871	94.6	97,994	82	83,638,388	92	854	112.2
さば・さんま・あじ・いわし	4,123	106.4	539,094	83.0	131	78.1	43,215	89	7,062,464	92	163	102.8

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	122	42.2	106,729	47.8	875	113.2	10,832	77	3,596,785	80	332	105.0
うんしゅうみかん	2	165.3	2,160	148.6	1,200	89.9	149	64	97,242	93	654	146.1
りんご	45	46.9	15,874	37.9	353	80.7	10,216	76	3,017,289	81	295	106.3
なし	-	-	-	-	-	-	21	49	8,750	48	412	97.0
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	173,814	60.3	-	-	-	-	1,157,688	74	-	-
緑茶	245	119.3	433,902	114.4	1,771	95.9	1,431	119	2,761,402	118	1,930	99.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 3月	99.8	98.3	108.0	100.0	99.8
	4月	99.9	96.7	97.2	100.4	100.1
	5月	99.9	89.1	101.1	100.0	99.8
	6月	99.7	93.5	100.9	100.0	100.0
	7月	99.7	95.1	99.9	99.7	100.8
	愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
23年 3月		99.4	94.7	109.0	99.9	99.5
4月		99.7	98.0	98.9	103.3	101.5
5月		99.6	92.1	102.9	101.7	100.1
6月		99.7	97.4	100.1	103.5	102.7
7月		99.6	96.2	103.3	101.6	103.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 3月	100.3	85.6	113.0	103.7	103.3
	4月	95.6	86.0	92.0	81.1	103.4
	5月	92.6	86.4	88.2	91.3	103.6
	6月	95.7	86.4	108.3	105.1	103.5
	7月	98.8	86.3	111.9	151.9	101.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 3月	1,806	193	181	635	397	361	151	333	292	485	525	160	476
4月	1,777	162	266	577	409	484	158	489	287	386	511	156	467
5月	1,809	125	200	595	279	430	127	400	267	398	499	164	516
6月	1,797	109	194	651	338	401	145	332	204	514	504	172	502
7月	1,812	172	175	675	288	329	152	329	175	537	628	167	516
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 3月	731	268	354	136	222	785	536	151	166	293	204	802	412
4月	-	307	378	119	230	878	552	145	156	302	222	851	405
5月	-	283	344	130	227	795	551	168	156	307	218	855	407
6月	-	280	354	-	224	733	544	143	159	293	233	818	411
7月	-	278	354	-	219	800	541	146	161	287	224	835	453

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 460
平成23年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417